年末港湾合同パトロールを実施

～安全の足並み揃えて　手を抜かず　年末年始もゼロ災害～

八重山労働基準監督署は、港湾貨物運送事業労働災害防止協会沖縄総支部八重山支部（渡久地明支部長）、石垣市建設部港湾課と合同で、年末港湾合同パトロールを実施しました。

港湾貨物運送事業労働災害防止協会では、１２月１６日から１月１５日までを「年末年始港湾無災害強調期間」と定めて積極的な取組を実施しており、今回の合同パトロールもその一環として行われました。

八重山地区の港湾での休業４日以上の労働災害は、平成 23 年 7 月 13 日以来、約３年５か月間も発生しておらず、年末年始の荷が増加し業務量が増大するこの時期に安全第一の意識を徹底し、今後も無災害を継続することを目標に実施されました。

作業現場では、前回の指摘事項が改善されており、一歩ずつ前進していましたが、新たな問題点も認められ、継続した安全衛生活動の必要性が感じられました。

また、今回のパトロールにおいても、重篤な災害に繋がるフォークリフトやクレーン等での接触災害やコンテナからの墜落防止対策について重点的に指導が行われました。

日 時　平成２６年１２月９日（火）９：００～１５：３０
場 所　石垣港埠頭　ヤード倉庫
　　貨物船　　にらいかない　　よね丸